

# JIS

## 地盤材料の溶出特性を求めるための 上向流カラム通水試験方法

JIS A 1231 : 2023

(JGS/AIST/JSA)

令和 5 年 3 月 13 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	久田 真	東北大学
(委員)	石田 知子	株式会社大林組
	鹿毛 忠継	国立研究開発法人建築研究所
	加藤 佳孝	公益社団法人日本コンクリート工学会 (東京理科大学)
	鎌田 敏郎	公益社団法人土木学会 (大阪大学)
	古賀 裕久	国立研究開発法人土木研究所
	鈴木 澄江	工学院大学
	中山 英明	一般社団法人セメント協会
	野口 貴文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	原田 修輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	前田 敏也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	宮田 喜壽	防衛大学校
	丸山 慶一郎	一般財団法人建材試験センター
	水田 真紀	国立研究開発法人理化学研究所
	柳田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	吉田 敬	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)

---

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：令和 5.3.13

官 報 掲 載 日：令和 5.3.13

原 案 作 成 者：公益社団法人地盤工学会

(〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2 TEL 03-3946-8677)

国立研究開発法人産業技術総合研究所

(〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第 1 つくば本部・情報技術共同研究棟 TEL 029-861-2000)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 久田 真)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験方法の概要	3
5 試薬	3
6 装置及び器具	3
7 試料の準備	5
8 試験方法	6
9 計算	9
10 試験報告書	10
附属書 A (参考) 試料の充填から通水までの各操作の参考手順	11
附属書 B (参考) この規格の各試験条件の考え方	13
附属書 C (参考) 遠心分離時間の計算方法	16
附属書 D (参考) 試験の再現性	17
附属書 JA (参考) 装置及び器具に使用可能な材質	18
参考文献	19
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
解 説	24

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人地盤工学会（JGS）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 地盤材料の溶出特性を求めるための 上向流カラム通水試験方法

## Test method for leaching characteristics of geomaterials— Up-flow percolation test

### 序文

この規格は、2019年に第1版として発行されたISO 21268-3を基とし、我が国の公定試験法、基準及び広く普及している試験方法を考慮して、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、地盤材料から溶出する化学物質の溶出特性を求めるための上向流カラム通水試験方法について規定する。この試験方法で測定の対象とする化学物質は、鉛、カドミウム及びふっ素などの無機物質並びに1,4-ジオキサン及び多環芳香族炭化水素などの有機物質である。ただし、揮発性の物質は除く。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 21268-3:2019, Soil quality—Leaching procedures for subsequent chemical and ecotoxicological testing of soil and soil-like materials—Part 3: Up-flow percolation test (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0207 地盤工学用語

JIS A 1201 地盤材料試験のための乱した土の試料調製方法

JIS A 1203 土の含水比試験方法

JIS A 1204 土の粒度試験方法

JIS K 0102 工場排水試験方法

JIS K 0130 電気伝導率測定方法通則

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS K 8034 アセトン（試薬）